

冊子「夫婦deミーティング」を

青森県男女共同参画センターでは、夫婦が協力して楽しく家事・育児をするきっかけづくりとして冊子「夫婦deミーティング」を発行しました。7月7日に開催したファザーリング東北フォーラムinあおもりの分科会において、この冊子を活用して夫婦の家事・育児の分担状況や課題などを話し合った「あおもりカジダン・イクメンサミット」の様子をご紹介します。

レポート
 ファザーリング東北フォーラムinあおもり
 分科会2「あおもりカジダン・イクメンサミット」
 (7月7日(土)、アピオあおもりで開催)

カジダン・イクメンたちの語録



- **家事・育児の分担の状況**
 - 「食事づくりは妻が基本メインでやっています。片付けは僕も子ども自分でやります。掃除も基本は僕の方が多いいかな。ゴミ出しは、ゴミ集めからゴミステーションまで持っているのも僕ですね」
 - 「妻の仕事は夜勤もあるので、僕も家事育児をやらないと家の方がまわらないので、結構やっています。食事は基本的には作り置きです。なるべく食材をストックして、空き時間に作っています。PTA活動にも僕が行っています」
- 「夫婦deミーティング」を記入して気づいたこと
 - 「もっと自分の分担割合を増やしたいなあと思った」
 - 「妻には妻の人生がある。僕は妻の人生を応援したいと思うようになった」
 - 「下の子どもが来年小学生になるので、妻は本格的に仕事を始められるように、今は資格を取りながら準備をしている。勉強するための時間をもっと作ってあげられたらと思う。給与はなかなか伸びないけど、(妻も仕事)が本格化すると世帯所得は上がるんじゃないかと期待している」

名もなき家事とは

「料理、洗濯、掃除」など名前のある家事以外のこまごまとした家事のことを指します。2017年に住宅メーカーが発表した共働き夫婦を対象にした家事に関する調査結果では、料理についても、献立を考える、買い物をする、調理する……と延々と続く作業が含まれ、どの部分を担っているのか、またその分担割合に、夫婦で認識差があることがわかりました。

【コーディネーター】NPO法人ファザーリング・ジャパン・ファウンダー
 安藤 浩也 さん
 【登壇者】NPO法人ファザーリング・ジャパン東北 齊藤望さん(青森県)、長谷川聖史さん(秋田県)、後藤大平さん(岩手県)、早坂孝一さん(宮城県)、五十嵐健裕さん(山形県)、横田智史さん(福島県)、秘密結社主夫の友 杉山ジョージさん

● カジダン・イクメンのメリット

- 「妻の笑顔が増えて、お互いに「ありがとう」と言い合うようになった」
- 「段取りを考えて逆算して計算する癖がついて、仕事も優先度を考えて、時間までに終わらせるように注力できるようになりました」
- 「段取り力がつきました。一つのことしかできなかつたが、仕事でも複数のことを同時進行できるようにになりました」
- 「子どもの洗濯物を畳んでいるときに、「明日もこれ着て頑張ってくださいよ」と思いやりの気持ちを持つようになった」

● 夫婦で家事・育児を行うポイント

- 「お互いにSOSを出せるように日ごろからコミュニケーションをとること。第三者にも頼むとかサービスを利用することも選択肢に含めて話し合うこと」
- 「夫婦で家事の話をするとコミュニケーションが自然と増えますよ」



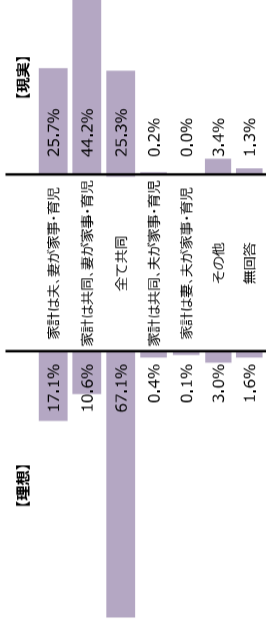
● 安藤さんより

「家事力をつけるのは人生100年時代に男女とも欠かせないことだと思います。家事で段取り力がついて、短い時間で結果を出すという生産性の高い働き方が身についたという例もあるので、できていた方がいいですね。こうしたことを男性から男性に伝えていくことも大事なことです。います」

活用して、おうちのことを話し合おう！

データde見る夫婦の家事・育児参画

▼ 家庭における夫婦の役割分担



平成27年青森県男女共同参画に関する意識調査

- 家庭における夫婦の役割分担について、理想は「すべて共同」は67.1%と最多となっているが、現実には「家事は共同、妻が家事・育児」が44.2%で最多となっています。
- 青森県の夫の家事育児時間は61分、たいして妻は6時間5分。6倍もの差があります。全国の夫の家事育児時間は66分で、青森県の夫は全国平均より短い結果がでています。
- 夫婦の家事・育児の状況には理想と現実には開きがあり、なおかつ妻の負担が大きくなっていくようにとらえられます。

総務省社会生活基本調査(平成28年)/表中の数値は週全体平均・1日当たりの時間を示している。

夫婦deミーティング 使い方ガイド

⚠️ 夫婦二人で、この冊子を見ましょう！

【準備するもの】…ペン
 (どちらが書きこんだかわかるように、2色あると便利です)

【進め方】…ふたりで冊子にどんどん書き込んでいきます！

1. 家族の未来を想像してみよう
 仕事のこと、家族の夢、新しく始めたいこと…考えてはいたけれど口に出していなかった夢や未来を、二人で共有しましょう！

2. 毎日の生活と子育てについてふたりで考えてみよう

①現状を確認してみる
 ②これからのありたい分担方法
 いずれの使い方もOKです。互いに折り合いのつく分担方法を探ってみましょう。

例えば、「食事」については、作業項目を「献立を決める」「買い物」「お米をとぐ」「食器を洗う」「片付け」「食器洗い」など細かく分類しています。円グラフに夫婦の分担割合を記入してください。第三者やサービスの利用、「やめる」という選択肢もあるのです。その時の状況で分担を考えてみてください。

【その他の家事の欄】

ここに「名もなき家事」のことを書き込んでOK！どんなことが必要か、夫婦で一連の流れを確認して、協力の仕方を考えてみましょう。

(例) ファザーリング・ジャパン東北のカジダン・イクメンたち
 絵本を読む、保育園の送迎、雪かき、PTAの参画、草むしり、庭木の水やり、電子レンジの庫内掃除、連絡帳チェックetc

「夫婦deミーティング」は男性の家事育児時間が少ない現状において、結婚から子育て期にある夫婦が家事・育児をお互いに協力し合えないがら行っていくために話し合う機会となるワークシートです。

3. 理想の未来に近づぐために「チーム夫婦」でできることを話し合おう
 仕事の状況の変化や子どもの成長などに合わせて、その都度振り返ってみましょう。

4. 冊子を通り書いて、話し合った最後に…
 お互いへの感謝の気持ちを言葉にしてください。

男女共同参画社会は男性も女性も一人ひとりが自分らしく生きていける社会です。このワークシート「夫婦deミーティング」を使い、自分らしく生きて、パートナーの人生も応援し合える関係を築いていきつなげたいと思います。

アピオあおもり秋まつりにて「夫婦deミーティング」ワークショップを開催します！

日時：平成30年11月11日(日)
 10時～15時30分
 場所：アピオあおもり大研修室2

冊子は「青森県男女共同参画センター」HPよりダウンロードできます！
<http://www.apio.pref.aomori.jp/gender/news/huhumeeting/>

